

**日本語教師志望者 & 現役日本語教師に  
リーチし続ける媒体**



**平成29年度  
日本語教育能力検定試験  
合格するための本**

**広告媒体資料**

発売日：2016年12月19日(月)予定

判型：B5判

ページ数：196ページ（予定）

発行部数：10,000部

予価：2,800円 [本誌+付属CD] (税別)

広告申込締切日：2016年10月21日(金)



# 「平成29年日本語教育能力検定試験 合格するための本」は、

平成29年度 日本語教育能力検定試験の  
受験者および検定試験に関心を持つ方  
に向けて刊行される、傾向と対策誌です。  
検定対策講座や日本語教師養成講座を  
お持ちの学校様、検定関連商品をお  
持ちの出版社様など、ぜひPRにご活用  
ください。

## ◆編集企画内容

1. 検定試験に関する最新傾向を分析し、出題率が高いと予測される問題を専門家が執筆します。分かり易い解説を提供します。
2. 受験初心者に向けて検定概要の紹介や学習スケジュールの提案など、合格に役立つ情報を提供します。
3. 検定試験当日のレポートや検定の詳細分析など、受験の不安を払拭する企画や合格体験記事、現役日本語教師へのインタビュー記事で読者のモチベーションをアップさせます。

### 第1章(1)日本語教師に聞いてみたい10の質問

- (2)座談会・日本語教育(現場)の今とこれから
- (3)合格体験談

### 第2章:日本語教育能力検定試験の概要

なぜ受験するのか? / 合格ガイドライン / 検定試験の1日 ほか

### 第3章:区分別問題演習 & 直前対策

### 第4章:検定試験に備える!

試験問題対策 / カタカナ・時事キーワード など

※付録CDあり

## ◎これまで刊行した「合格するための本」の読者層は・・・

- ・ 約50%の読者が独学でのスタート。その後、講座を受講など。
- ・ 60%強の読者が検定試験未受験者。
- ・ 年齢層は20～30代後半が中心。女性が70%以上。
- ・ シニア層の読者は20%強

※過去に刊行の『合格するための本』読者アンケートを基に集計した分析。

★特別記事広告企画★

合格者が語る！ 私の検定必勝法（仮題）

平成28年度検定試験合格者（予定）へのインタビューを通して、貴校の日本語教師養成講座や検定対策講座を詳しくご紹介します。修了生が感じた講座の良い点（教材の充実度、講師の先生の指導法、スクールスタッフのケアなど）を取材し、貴校に通うメリットを実際に通った修了生の方を通して語っていただくものです。

記事広告1色1ページ  
30万円（制作費込・税別）

前回版の同じ企画のページ▼

**合格者に訪ねたポイント**

**基礎からじっくり学び、検定対策は集中的に**  
相澤淳子さん／アークアカデミー

Q1 検定受験の動機、感想は？  
「勉強漬けの日々、没頭できる幸せ  
ボランティア活動を通じて地域の外国人や留学生と関わる中で、日本語について聞かれることも多かったのですが、的確な答えができたことは限らず、その人へのわかりやすく伝えたというつもりはありました。子どもの手が離れたので、本格的に勉強をしようとして、養成講座に通いました。せっかくなら仕事でも、本格的に勉強をしようとして、資格になる試験を目指しました。それから合格までは、まさに「勉強漬け」の毎日、こなせるのが大変でしたが、実際にやってみると、やりたかったことに没頭できることがうれしくてたまりませんでした。

Q2 合格のための戦略は？  
「一発合格」を決意、集中して取りこむ  
まずは養成講座の勉強に集中して、7月頃から市販の参考書や過去問5年分に取り組みました。つまり、この講座のレジュメに就いたり、ポイントをもとめたノートを作ったりしました。あれこれやりすぎると疲れてしまうので、いつも同じように読んだり理解したり、検定の前に対策を集中的に行ったのは、結果的に苦手な自分に合わせて、また、「一発合格」と決意を固めていたので、集中力が続いたのだと思います。

Q3 スクールに通ってよかった点は？  
知識と実践の両方を、深く理解  
養成講座のコースは検定対策に特化したものではありませんでしたが、試験としては役に立ちました。試験にも現場にも通じる、日本語教育の理論講座から実践的なノウハウまで、深く学べたと実感しています。特に、420時間や900時間を活用して、納得のいくまで何度も繰り返し勉強して学習できたことは、大きかったです。また、スワップを通して、講師の先生方からの個別のアドバイスをもらえたことや、クラブで同じ志の仲間に出会えて、助け合ったことも、助になりました。一人では、わからないことが多かったのだと思います。

Q4 参考書・問題集は？  
WEB講座のレジュメと自作ノートが中心  
主にWEB講座のレジュメに書き込みをした資料と、ポイントをもとめた自作のノートや用語集で繰り返し学習し、CD付きの問題集や過去問5年分を出題形式に慣れました。また、勉強の合間に息抜きで読んでいた「国際な日本語」（大修館書店）などの一般書や色々な読み物は試験にも役立つと思いました。

026 PR

**合格者に訪ねたポイント**

**全体像を把握後、試験対策コースで特訓**  
小泉洋子さん／東京中央日本語学院

検定受験の動機、感想は？  
「わかったつもり」を排除、理解を確認  
外資系企業に30年間勤めていたのですが、周りには日本語を勉強している同僚がいました。彼らと共に働く中で、私も自身も母国語のことをもっと知りたいと思うようになりました。ちょうどその頃、年齢に関係なく一生できる仕事に転職したかったので、働きながら、土曜日にだけ養成講座に通いました。クラスメートの全員が受験を受けていたので、私も9月に早速受験して検定対策に集中。基礎はわかってはいたつもりでも、意外とできないことに驚きました。理解を確認する、よききっかけになりました。

Q2 合格のための戦略は？  
苦手と得意を分析して、効率的に  
養成講座で基礎は学んでいたのですが、9月から検定対策コースの受講や、過去問や問題集を通して、苦手と得意な分野を分析しました。得意な分野では、即座に点数を取るように心がけました。例えば文法、語彙、心理などは、かなり詳しく養成講座や予備校から、特別な対策をしなくても対応できました。特に聴解問題も、文法や発音が押さえていたので志気もあがり、8割以上の正解を目指しました。逆にアクセント問題は苦手で、ある程度は取り回すことができました。記述式は検定対策コースで印刷されたポイントを活用して、参考書を頼りに頑張りました。

Q3 スクールに通ってよかった点は？  
長時間の試験環境に、体を慣らす  
試験そのものが、10年以上前にTOEICを受けたときより、かなり久しぶりでした。養成講座の授業はからからまで受けていたので、試験に合わせた体を慣らす訓練になったと思います。特に検定対策コースでは、ひたひたの長時間にもなりました。周りのモチベーションが強いことも、よい刺激になりました。また、過去問に解説が付いていたのも、先生に相談していた、その場で解決できたのは非常に助かりました。

Q4 参考書・問題集は？  
記述式問題は養成講座での添削を復習  
使用したのは、養成講座のカキネストと、過去3年分、「合格するための問題集」（アルク）です。クラスメートと一緒に、お相手の参考書情報も交換したり、わからない問題を教えあったりもしました。記述式は養成講座で印刷していたポイントを活用し、さらに参考書でなるべく多くの問題と解答例を頼りに入れました。

027 PR

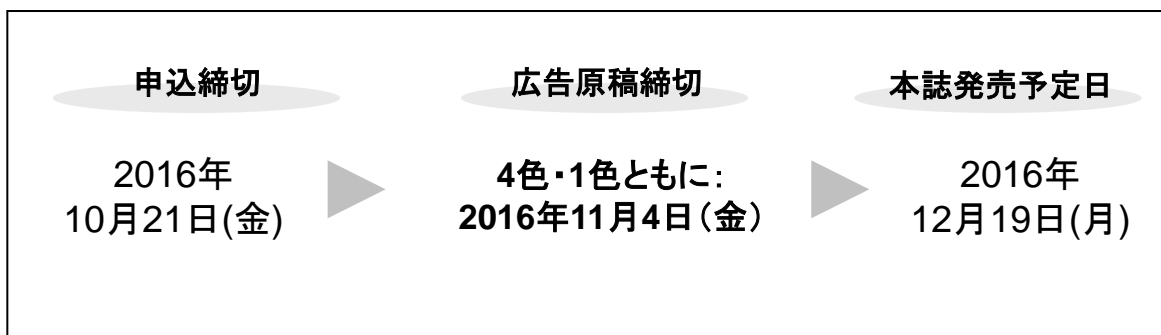
申込締切：2016年10月 5日（水）  
取材完了予定：2016年10月14日（金）

※当企画は、参画2校以上で成立の企画です。

## ◆広告掲載料金表

スペース・色	サイズ(天地×左右/mm)	掲載料金
表4(カラー)	お問い合わせください	¥750,000
表2(カラー)	257×182	¥650,000
表3(カラー)	257×182	¥600,000
表2対向面カラー1ページ	257×182	¥450,000
カラー1ページ	257×182	¥420,000
モノクロ1ページ(囲み野あり)	225×145	¥260,000
モノクロ1/2ページ(囲み野あり)	110×145	¥160,000

## ◆スケジュール



## ◆入稿に関するお願い

- ◆広告原稿は、基本的に完全データ(写真やイラストなどの実画像データを取り込み済みのもの)でお願い致します。
  - ◆データ入稿時は、以下の3点をご用意の上、ご入稿ください。
    - (1) データ記録メディア (CD-R、USBメモリなど)
    - (2) 原寸サイズカラー出力見本(縮小出力されたものやカラー原稿でのモノクロ出力見本はご遠慮ください)
    - (3) データ出力指示書(形式は問いませんが、使用ソフトのバージョン・使用フォントなどを確認できるもの)
  - ◆校正紙(色校正・簡易校正)は、入稿データとともにお出し致します。訂正がある場合は、校正紙への赤字通りにデータを修正していただき、修正後の原寸サイズカラー出力見本を添えてお戻しく下さい。できるだけ、修正のない進行にご協力をお願い致します。
  - ◆入稿データのバックアップは、必ずお手元にも保存願います。
  - ◆裁ち切り原稿(4色原稿)の場合、左右のセーフティを12ミリでお願い致します。なお、1色原稿は裁ち切り原稿ではお受けできません。上記原稿サイズの囲み野でご作成ください。
  - ◆写真点数の多い原稿につきましては、写真分解料金を実費にて請求させていただきます。
  - ◆締め切りは厳守ください。締め切りを過ぎますと、校正刷りをお見せできない場合がございますので、ご注意ください。
  - ◆タイアップ広告、記事広告など、特別な体裁・内容の広告で、小社営業部が制作に関わらない場合は、入稿の前に各営業担当にご相談ください。原稿内の欄外に12級以上のゴシック体の書体で「PR」と表記ください。
- ◎発売日30日を過ぎてのキャンセルは、全額のお支払いとなります。ご了承ください。

## ◆広告のお申し込み・お問い合わせ先

# 株式会社アルク

オウンドメディアチーム

メディアプランニングセクション

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-6  
市ヶ谷ビル8F

Tel.03-3556-1376 Fax.03-3556-1389

URL <http://www.alc.co.jp/>

Eメール [ad@alc.co.jp](mailto:ad@alc.co.jp)